

**第 6 期仙台市介護保険審議会  
地域包括支援センター運営委員会（第 6 回会議）議事録**

日時：平成 28 年 12 月 14 日（水）17：30～18：00

場所：仙台市役所本庁舎 2 階 第 5 委員会室

〈出席者〉

【委員】

井野一弘委員、大内修道委員、駒井伸也委員、佐藤功子委員、鈴木峻委員、出口香委員、森高広委員以上 7 名、五十音順（長野正裕委員、若生栄子委員欠席）

【仙台市職員】

會田保険高齢部長、下山田高齢企画課長、木村介護予防推進室長、大浦介護保険課長、川村介護予防推進室主幹兼推進係長、星高齢企画課包括支援係長、石川介護保険課管理係長、佐藤介護保険課指導第二係長

〈議事要旨〉

**1 開会**

会議公開の確認→異議なし

議事録署名委員については森高広委員に依頼→森高広委員了承

**2 議事**

(1) 平成 28 年度地域包括支援センターの事業評価及び指導の結果について

下山田高齢企画課長、大浦介護保険課長説明（資料 1、資料 1-1・1-2、資料 2）

【質疑応答】

森 委 員：地域包括支援センターの運営体制について、秋保を除いて 49 センターにおいては、機能強化専任職員を含めて 4 人以上の体制がそろうようになっていると思うが、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の 3 職種がそろっていないセンターはどのくらいあるのか。

下山田課長：今年度は全センターに地域のネットワークづくりや、地域包括ケアシステムに向けた様々な取組を行う機能強化専任職員の配置をお願いしている。年度当初は、配置ができなかったセンターもあるが、5 月頃には全センターに配置が完了したところである。森委員の方からも話があった通り、秋保包括では 2 名体制ではあるが、それ以外のセンターについては保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の 3 職種にて 3 名ないし 4 名体制となっており、基本的な地域包括支援センターの運営を担っている。それに 1 名を加えた形で、機能

強化専任職員の配置をお願いしている。職種の状況としては、基本的にはどのセンターも基本の3職種プラス機能強化専任職員1名ということで体制が整っている。

森 委 員：承知した。来年度から新しい総合事業が始まり、地域包括支援センターは高齢者の一番の相談窓口となるため、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種がそろい初めて包括センターとしての機能が生かせるものと考えられる。ぜひ今後とも3職種がそろったセンターの充実についてお願いしたい。

井野委員長：他に質問等なければ、「平成28年度地域包括支援センターの事業評価及び指導の結果について」は以上でよろしいか。

(一同了承)

井野委員長：それでは、当議案を承認とする。

(2) 平成29年度地域包括支援センター設置運営事業委託について  
下山田高齢企画課長説明(資料3)

**【質疑応答】**

井野委員長：質問等なければ、「平成29年度地域包括支援センター設置運営事業委託について」は以上でよろしいか。

(一同了承)

井野委員長：それでは、当議案を承認とする。

3 その他

(1) 地域包括支援センターの事務所移転について

下山田高齢企画課長説明(資料4)

**【質疑応答】**

駒 井 委 員：事務局より地域包括支援センターの事務所移転の理由として、事務局が手狭になったという説明があったが、人員が増えたことによるものか。

下山田課長：地域包括支援センターでは個人情報を含めた資料を保管し、蓄積をしている状況で、法人より資料の保管場所なども含め、手狭になってきたという話を聞いている。

4 閉会